令和3年度の目標及びその達成に向けた活動の点検・評価

都 道 府 県 名:福岡県

農業委員会名:上毛町農業委員会

Ⅰ 農業委員会の状況(令和4年3月31日現在)

1 農業の概要

単位:ha 田 畑 計 普通畑 樹園地 牧草畑 耕地面積 918 82 1,000 経営耕地面積 933 45 12 978 33 遊休農地面積 3.0 2.2 2.2 5.2 農地台帳面積 877 168 168 1,045

- ※1 耕地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入
- ※2 経営耕地面積は、農林業センサスに基づいて記入
- ※3 遊休農地面積は、農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した第32条第1項 第1号又は第2号のいずれかに該当する農地の総面積を記入

		農家数(戸)
総農	家数	523
自給的農家数		171
販売	農家数	354
	主業農家数	41
	準主業農家数	32
	副業的農家数	281

[※] 農林業センサスに基づいて記入。

		農業者数(人)
農	業就業者数	648
	女性	247
	40代以下	30

※ 農林業センサスに基づいて記入。

	経営数(経営)
認定農業者	41
基本構想水準到達者	0
認定新規就農者	0
農業参入法人	0
集落営農経営	12
特定農業団体	0
集落営農組織	12

※農業委員会調べ

2 農業委員会の現在の体制

新制度に基づく農業委員会

	農業委	員
	定数	実数
農業委員数	14	14
認定農業者		8
認定農業者に準ずる者		0
女性	1	0
40代以下	_	0
中立委員		1

任期満了年月日 R 6年 7月19日

	定数	実数	地区数
農地利用最適化推進委員	8	8	4

*現在の体制を記載することとし、年度途中で切り替わった場合はいずれも記載

Ⅱ 担い手への農地の利用集積・集約化

1 現状及び課題

現状	管内の農地面積	これまでの集積面積	集積率
(令和3年3月現在)	1,002ha	627.3ha	62.34%
課題	・担い手等が耕作する農地が ・人農地プランに位置付けられ	ぶ分散していることによる作業 れている中心となる経営体へ	効率の低下 の農地集積

- ※1 管内の農地面積は、活動計画に記載した耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入
- ※2 これまでの集積面積は、活動計画に記載した担い手(認定農業者及び農業委員会法施行規則第10条で 定める者)へ利用集積されている農地の総面積を記入

2 令和3年度の目標及び実績

集積目標 ①	集積実績 ②	(うち、新規実績)	達成状況(②/①×100)
629.3ha	654.6ha	18.5ha	10402%

- ※1 集積目標は、活動計画に記載した集積面積を記入
- ※2 集積実績は、年度末時点で担い手へ利用集積されている農地の総面積を記入
- ※3 新規実績は、集積実績のうち1年間に新規集積面積(非担い手が自作又は利用していた農地のうち、 担い手に対して権利の設定・移転がされた農地)をどの程度増加させたかを記入

3 目標の達成に向けた活動

活動計画	・農地中間管理事業を活用し、人・農地プランに位置づけられている中心となる経営体への農地集積を推進する。
活動実績	・農地中間管理事業を活用し、人・農地プランに位置づけられている中心となる経営体への農地集積を行った。(利用権設定:11月・5月、売買:年間6件)

- ※ 活動実績は、目標の達成のために何月に何日何を行ったのか等詳細かつ具体的に記入
- 4 目標及び活動に対する評価

目標に対する評価	農地中間管理事業の活用希望者については、マッチング等も含め、全て利用権設 定及び所有権移転まで実施した。
活動に対する評価	担い手への集積は徐々に進んでいる。。 今後も、実質化した人農地プランのもと、集約化に努めていく。

Ⅲ 新たに農業経営を営もうとする者の参入促進

1 現状及び課題

新規参入の状況		30年度新規参入者数	31年度新規参入者数	2年度新規参入者数
		0 経営体	0 経営体	0 経営体
		30年度新規参入者 が取得した農地面積	31年度新規参入者 が取得した農地面積	2年度新規参入者 が取得した農地面積
		0 ha	0 ha	0 ha
課	題	集積、集約が進んでおり新規参入の農地が少ない。		

^{※1} 新規参入者数は、活動計画に記載した過去3年の農地の権利移動を伴う新たな新規参入者数を 記入し、法人雇用や親元就農は含まない。

2 令和3年度の目標及び実績

参入目標①	参入実績②	達成状況(②/①×100)
1 経営体	0 経営体	0%
参入目標面積③	参入実績面積④	達成状況(④/③×100)
0.5 ha	0 ha	0%

- ※1 参入目標及び参入目標面積は、活動計画に記載した参入者数及び農地面積を記入
- ※2 参入実績は、1年間に新たに参入した新規参入者数を記入 ※3 参入実績面積は、上記で記入した経営体が取得した農地面積の合計を記入

3 目標の達成に向けた活動

活動計画	貸出希望農地や参入希望者の情報収集と事務局への情報提供につとめる。
活動実績	産業振興課窓口で就農相談を受け付けた。(実績1件)

[※] 活動実績は、目標の達成のために、何月に何日何を行ったのか等詳細かつ具体的に記入

4 目標及び活動に対する評価

目標に対する評価	課題に沿った目標設定が求められる。
活動に対する評価	可能な範囲で計画に沿った活動を行った。

^{※2} 新規参入者が取得した農地面積は、上段で記入した経営体が取得した農地面積の合計を記入

Ⅳ 遊休農地に関する措置に関する評価

1 現状及び課題

現	状	管内の農地面積(A)	遊休農地面積(B)	割合(B/A×100)
(令和3年3	3月現在)	1006.2ha	4.2ha	0.42%
課	題	農業従事者の高齢化や後紀 増加している。生産条件が悪 がりにくい。		鳥獣被害による遊休農地が まず、安定的な解消につな

- ※1 管内の農地面積は、活動計画に記載した耕地及び作付面積統計における耕地面積と 農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した同法第32条第1項第1号 の遊休農地の合計面積を記入
- ※2 遊休農地面積は、活動計画に記載した農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により 把握した第32条第1項第1号又は第2号のいずれかに該当する農地の総面積を記入

2 令和3年度の目標及び実績

解消目標①	解消実績②	達成状況(②/①×100)
1.0ha	2.3ha	230%

- ※1 解消目標は、活動計画に記載した解消面積を記入
- ※2 解消実績は、当該年度末時点の遊休農地の解消面積を記入

3 2の目標の達成に向けた活動

<u>ა</u>			9 .					
	措置の内容	調査員数	女(実数)	調査実施時	期	調査結果取り)まとめ時期	
			22人	4月~8月		9月~	10月	
活動計	農地の利用状況 調査	調査方法	・昨年度遊休農地となっている箇所を継続的調査する。 ・町内を大字ごとに町産業振興課と農業委員が連携して農地利用状況記する。					
画	農地の利用意向 調査	調査実施時期	周査実施時期:11月~12月					
	その他の活動							
	農地の利用状況	調査員数(実数)		調査実施時期		調査結果取りまとめ時期		
	調査		24人	4月~9月		10月~	~11月	
活		調査実施時期	11月~12月	調査結果取りまと	とめ時期	1月~	-3月	
動	農地の利用意向	第32条第	1項第1号	第32条第1項第	第2号	第33	3条	
実績	調査	調査数:	61筆	調査数:	筆	調査数:	筆	
八八		調査面積:	4.4ha	調査面積:	ha	調査面積:	ha	
	その他の活動							

4 目標及び活動に対する評価

目標に対する評価	目標は達成できた。
活動に対する評価	8・9月の農地パトロールのほか、年間を通して委員が利用状況を注視するなど、発生防止と解消に向けた活動が行われた。

V 違反転用への適正な対応

1 現状及び課題

現	状	管内の農地面積(A)	違反転用面積(B)
(令和3年3		1,002 ha	0 ha
課	題	農地法を知らないことによる違反転用	が発生する可能性がある。

- ※ 管内の農地面積は、活動計画に記載した耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入
- ※ 違反転用面積は、活動計画に記載した管内で農地法第4条第1項又は第5条第1項の規定等に違反して 転用されている農地の総面積を記入

2 令和3年度実績

実	績①	増減(B-①)
	0 ha	0 ha

※ 実績は、年度末時点の違反転用面積を記入

3 活動計画・実績及び評価

活動計画	・農業委員の日常活動として農地パトロールを実施し、違反転用の疑いがある場合は、速やかに事務局に情報提供を行い、必要に応じて農地所有者へ指導する。 ・7月、8月を強化月間とし、特にパトロールを実施する。
活動実績	・農業委員、推進委員の日常活動として農地の利用状況を注視し、パトロールにつなげた。 ・8~9月に農地パトロールを実施した。
活動に対する評価	・農作業時の日常的なパトロールなど委員の活動により違反転用を防止できた。

※ 活動実績は、違反転用の解消や早期発見・未然防止のために何月に何日何を行ったのか等 詳細かつ具体的に記入

VI 農地法等によりその権限に属された事務に関する点検

1 農地法第3条に基づく許可事務

(1年間の処理件数: 15件、うち許可 15件及び不許可 0件)

点検項目			具体的な内容						
事実関係の	7年章刃	実施状況	農業委員による現	農業委員による現地調査及び添付書類等による書類審査					
尹天渕(水)	作的	是正措置							
総会等での	宏 詳	実施状況	調査結果に基づい	調査結果に基づく許可基準の審議					
松云寺(0)		是正措置							
		実施状況	申請者へ総会等 明した件数	等での指摘や許可条件:	15件				
申請者への審認の通知	議結果	天旭 仏化	不許可処分の理	里由の詳細を説明した作	‡数		0件		
		是正措置							
定 達灶田 <i>姓</i>	い小主	実施状況	議事録を縦覧に供している。						
審議結果等の公表 是正措置									
	実施状況		標準処理期間	申請書受理から 28日	処理期間	引(平均)	20日		
処理期間 是正措置									

2 農地転用に関する事務(意見を付して知事への送付)

(1年間の処理件数: 16件)

点検項目			具体的な内容					
		農業委員による理	農業委員による現地調査及び添付書類等による書類審査					
事実関係の	1/住市心	是正措置						
実施状況		調査結果に基づき事業内容及び周辺農地への影響等を総合的に判断						
総会等での審議 是正措置								
審議結果等の			議事録を縦覧に	供している。				
省 成和不守。	<i>Y</i> AX	是正措置						
	実	施状況	標準処理期間	申請書受理から	21日	処理期間(平均)	17	7日
処理期間	是正措置							

3 農地所有適格法人からの報告への対応

点検項目		実施状況				
		内	の農地所有適格法		14 法人	
		うせ	うち報告書提出農地所有適格法人数			14 法人
		うせ	うち報告書の督促を行った農地所有適格法人数			法人
			うち督促後に報告	うち督促後に報告書を提出した農地所有適格法人数		
農地所有適格法人からの報告について			うち報告書を提出しなかった農地所有適格法人		法人	
			提出しなかった	理由		
			対応方針			
農地所有適格法人の状況につい て					くおそれがあるため農業委員会 動告した農地所有適格法人数	0 法人
			対応状況			

4 情報の提供等

点検項目		具体的な内容			
	実施状況	調査対象賃貸借件数 428 件 公表時期 令和4年4月			
賃借料情報の調査・ 提供	天 旭朳仉	情報の提供方法 : 産業振興課窓口及び町のホームページで公表			
	是正措置				
農地の権利移動等の 状況把握	実施状況	調査対象権利移動等件数 588 件 取りまとめ時期 事案の処理都度			
	大 爬朳孔	情報の提供方法 : 公告縦覧			
	是正措置				
		整備対象農地面積 1,002 ha			
農地台帳の整備	実施状況	データ更新 : データ修正は随時			
		公表 : インターネットで公表			
	是正措置				

※その他の事務

上記ⅡからVIに掲げる事務以外の事務について、次年度の目標及びその達成に向けた活動計画を作成する場合には、それぞれの事務ごとに、上記様式に準じて取りまとめること。

Ⅶ 地域農業者等からの主な要望・意見及び対処内容

	農地利用最適化等に関する事務	〈要望·意見〉
	農地法等によりその権限に属され た事務	〈要望•意見〉
※ II~VIの事務について、活動を通じて地域の農業者等から寄せられた主な意見及び対処方針について記載 VIII 事務の実施状況の公表等		
1 総会等の議事録の公表		
1	総会等の議事録の公表	
	○HPに公表している	その他の方法で公表している
9	2 農地等利用最適化推進施策の改善についての意見の提出	
_		
	意見の提出件数 0) 件
	提出先及び提出した 意見の概要	
3	3 活動計画の点検・評価の公表	Ę.
	○HPに公表している その他の方法で公表している	